

ながおか

建設だより

第83号

平成29年8月1日発行

N 一般社団法人
長岡市建設業協会
長岡市三和3丁目8番地
TEL 0258(32)3206代
sikyokai@nct9.ne.jp

編集 総務委員会
印刷所 北越印刷株式会社



越後交通工業(株) 佐藤恭平さん



(株)山崎組 渡辺秀人さん



(株)山崎組 小林亨太さん

明日を 担う



越後交通工業(株) 佐藤萌笑さん

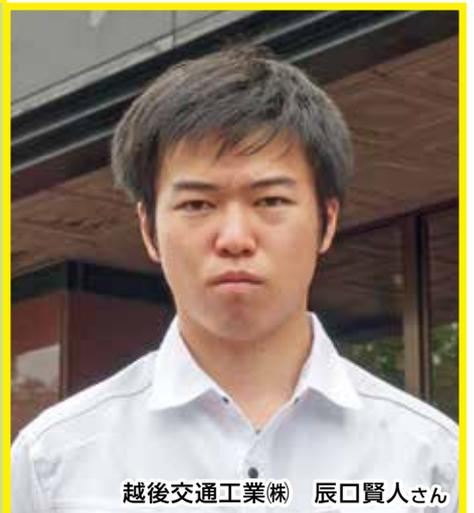
建設業の 若い力!



北澤工業(株) 勝見隼人さん



北澤工業(株) 瀧澤尚哉さん



越後交通工業(株) 辰口賢人さん

〈写真撮影：総務委員会 田中祐紀彦 氏〉

平成二十九年年度 定時総会を開催

平成二十九年四月二十七日、会員七十六名の出席を得て、平成二十九年年度定時総会が「かも川別館」で開催されました。

定時総会では、平成二十八年度の事業報告に続き、平成二十八年度収支決算と平成二十九年年度の事業計画並びに収支予算、特定財産の取り崩し、役員選出規程の改正についてそれぞれ承認されました。

今年度は、公益目的支出計画の実施期間の最終年度を迎えることから、公益目的支出計画に盛り込まれた事業を確実に実施します。



地域の守り手として建設業の魅力向上と課題の解決に取り組みます

星野光雄 会長

協会は昨年、創立70周年の節目の年を迎えましたが、これからも協会の使命と目的をしっかりと踏まえ、社会資本の整備を通して、地域の安全、安心を守り、地域社会の発展に貢献してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

さて、長岡市当局に対し、これまで入札や契約制度の改善について要望を行ってまいりましたが、昨年の12月から、最低制限価格の引き上げが行われました。

このほか、技術職員との意見交換会や検討会を通して、長岡市発注工事の施工上の問題点や設計変更などに対し、多くの項目で改善が進んでおりますが、依然として業界を取り巻く経営環境は大変厳しいものがあります。

このため、引き続き適正な予定価格の設定や適切な設計変更、繁忙期と閑散期、降雪時期などを踏まえた発注と施工時期の平準化について要望活動を行ってまいります。

さらに、建設投資額の確保と協会員のさらなる活用について求めてまいりたいと考えております。

今後とも、地域のインフラ整備と維持管理を担う「地域の守り手」として、関連する団体と連携を図りながら、担い手確保を含めた様々な課題の解決とともに、建設業の魅力向上に積極的に取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業計画

一 入札等制度改正への対応

最低制限価格の引上げや工事請負契約における設計変更ガイドラインの運用など、長岡市の入札制度や発注工事の施工上の問題点と課題に対して多くの項目で改善が

進んでいます。

今後とも「予定価格の適正な設定」や「適切な設計変更」、「繁忙期と閑散時期や降雪を踏まえた発注と施工時期の平準化」などについて引き続き要望活動を行います。

さらに、地域のインフラ整備と維持管理等を支えるとともに、災

害の発生時には安全と安心の確保

を担う「地域の守り手」として、関連する諸団体とも連携を図りながら長岡市に対し、建設投資額の確保と協会員のさらなる活用、入札制度等の適正化について要望します。

二 公益事業等の取り組み

協会は、災害時の安全と安心を担い、地域の活性化に積極的に取り組むため、公益目的事業計画に盛り込まれた次の事業を確実に実施します。

① 災害時の応急復旧と復旧支援事業に迅速に取り組むとともに

道路等の除雪、要援護世帯の屋根雪下ろし制度等に積極的に協力します。

② 建設関係の講演会やセミナーを開催します。

③ 地域の祭りや行事における清掃活動等に参加し、環境美化に取り組みます。

④ 工事施工指導会や工事安全パトロールをはじめ、会員研修旅行、視察研修、技術検討会などを実施します。

三 研修事業

入札や契約制度の改正、工事施工上の課題などに対応するため、研修や研究事業に積極的に取り組み、会員の資質向上を図ります。

四 広報・情報提供

会員に対する情報提供を積極的に行うとともに、協会の活動状況や経営内容等について周知を図ります。

会員表彰

定時総会では、表彰規程に基づき次の皆さんに感謝状と表彰状を贈呈しました。

○満十年以上役員（技術委員会委員及び総務委員会委員）として職に当り功績があつた方

櫻井正行

（長岡土建工業株式会社）

○満七十歳以上で、満十年以上会員として業界に功労のあつた方

川上忠蔵

（川上建材株式会社）

小林和子

（株式会社小林工務店）

小林利夫

（大幸建設株式会社）

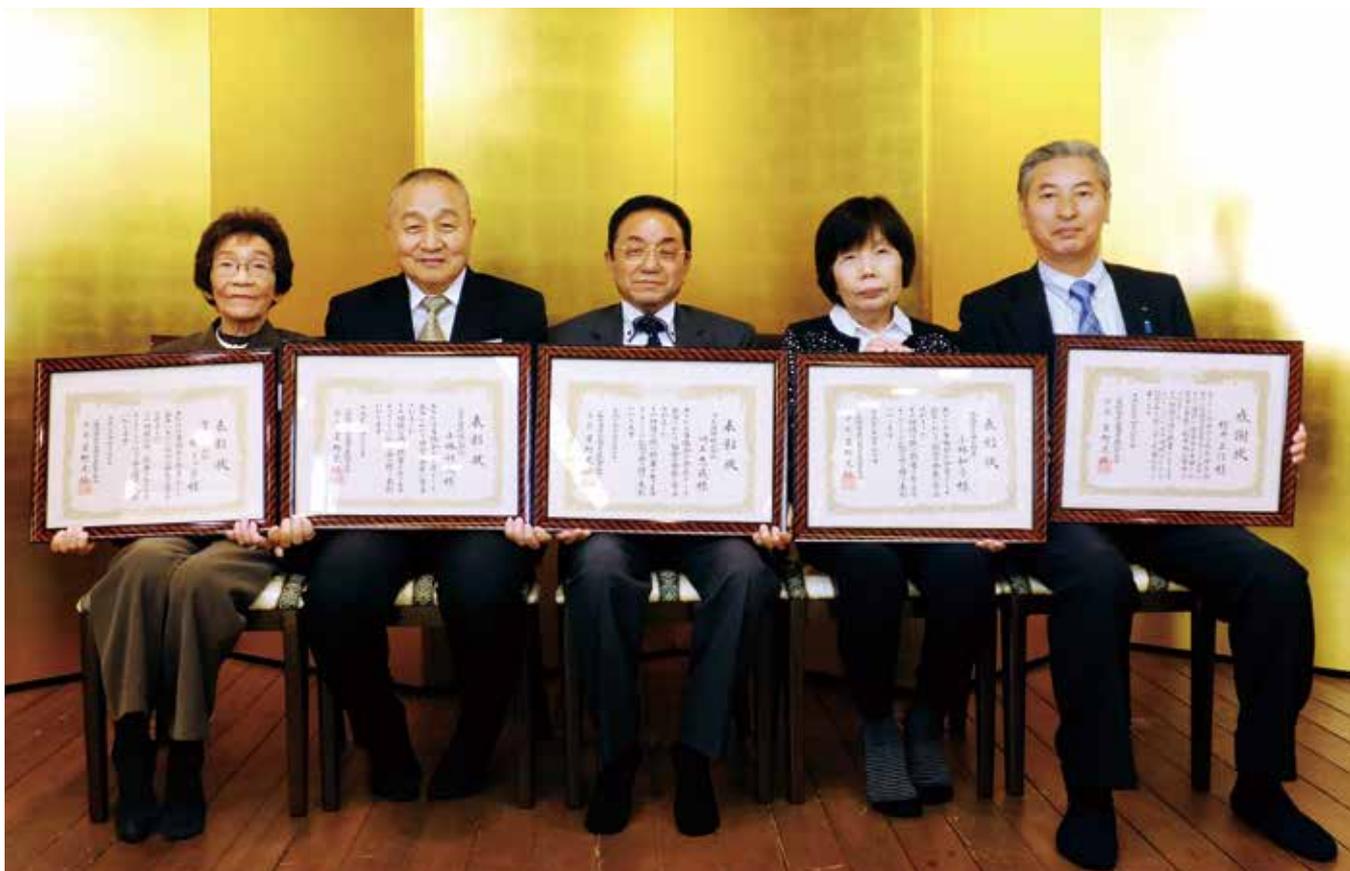
椿イツ子

（椿建設株式会社）

受賞された皆さんおめでとうございました。

賑やかに情報交換

定時総会終了後、来賓として磯田達伸長岡市長をお迎えして懇親会を開催し、賑やかな情報交換の場となりました。



委員会の活動

平成二十九年度は、公益目的支出計画の実施期間の最終年度となることから、総務委員会と技術員会が中心となって、研修、親睦、社会貢献活動等の事業を積極的に展開しますので、皆さんの参加とご協力をよろしくお願いします。

総務委員会

総務委員会は、「ながおか建設

だより」の発行をはじめ、会員研修旅行や会員親睦ゴルフ大会、各地域の環境美化活動、建設産業セミナーなどを開催します。

会員研修旅行は、新潟県建設協会長岡支部と合同で、十月四日(水)から六日(金)まで「トヨタ自動車九州工場見学と長府・下関・門司視察三日間」を予定しています。また、会員親睦ゴルフ大会は、十月二十四日(火)長岡カントリー倶楽部で開催します。

環境美化活動は、小国地域の「桜まつり」会場の設営と清掃に引き続き、長岡地域の「長岡まつり大花火大会」会場の早朝清掃作業と各地域で開催されるまつり会場の清掃作業などに参加します。

技術委員会

技術委員会は、土木・建築工事施工指導会をはじめ、土木工事及び建築工事の安全パトロールや災害時の応援体制を確立するため「緊急連絡表」を作成します。

なお、今年度は重点事業として建設業界の新しい動きや技術に対応するため研修や研究事業を積極的に進めます。

首都圏外放水路(国土交通省関東地方整備局利根川河川事務所)の視察をはじめ、東京ビッグサイトで開催される「高齢者住宅フェア」や「生産システム見える化展」「猛暑対策展」、「無電柱化推進展」「国際ロボット展」など、様々な催しを研修します。

また、長岡市技術職員との意見交換会では、若手技術者による現場での様々な課題や改善に向けた対応などについて話し合いを行うこととしています。

さらに、総務委員会とともに、入札契約制度の改正や工事施工上の課題などに対応するため、研修と研究活動などに積極的に取り組みます。

主な活動の日程と内容

【全体】

月日	項目
4月27日	平成29年度定時総会
平成30年1月	新年会(新潟県建設業協会長岡支部と合同)

【総務委員会】

月日	項目
8月1日	「ながおか建設だより」第83号発行
10月4日から 10月6日	会員研修旅行(新潟県建設業協会長岡支部と合同)トヨタ自動車九州工場見学と長府・下関・門司視察3日間
10月24日	会員親睦ゴルフ大会(長岡カントリー倶楽部)
平成30年1月15日	「ながおか建設だより」第84号発行
平成30年3月	建築セミナー
未定	建設産業セミナー
環境美化活動	
4月21日・24日	桜まつりの会場設営及び清掃(小国地域)
8月3日・4日	長岡まつり大花火大会の会場早朝清掃(長岡地域)
10月8日	こしじ秋まつりの会場清掃(越路地域)
平成30年2月4日	とちお遊雪まつりの会場設営(栃尾地域)
平成30年3月10日	古志の火まつりの会場後片付け(山古志地域)

【技術委員会】

月日	項目
6月26日	土木・建築工事施工指導会
7月4日	建築工事安全パトロール
7月19日	第1回視察研修会(高齢者住宅フェア、猛暑対策展ほか)
9月4日	第2回視察研修会(首都圏外郭放水路)
9月15日	土木工事安全パトロール
11月30日	第3回視察研修会(国際ロボット展)
未定	長岡市技術職員(長岡市建設技術協会)との意見交換会

※ 日程と内容は決まり次第ご案内します。

会員の退会について

会社名	代表者名(所長・支店長)	退会日
日本道路株式会社長岡営業所	斎藤 敏明	平成29年2月28日
東亜道路工業株式会社北陸支店	阿部 敏明	平成29年7月20日

会員の異動について

代表者の変更

会社名	変更前	変更後	変更日
株式会社西栄建設	神林 幸夫	西脇 宏	平成29年3月25日

支店長の変更

会社名	変更前	変更後	変更日
株式会社植木組長岡支店	春日 孝郎	齋藤 昌昭	平成29年4月1日

会員数(平成29年8月1日現在)80社(正会員71社、準会員9社)

平成29年度

安全功労者表彰

5月24日、長岡建設会館において開催された、平成29年度建設業労働災害防止協会新潟県支部長岡分会(田尻正敏分会長)の通常総会で、次の方々が安全功労者として表彰されました。

賞名	会社名	氏名
功労賞	(株)曙建設	和田 英光
	三信興業(株)	稲田 和哉
	(株)山崎組	神林 亨
	渡長建設(株)	三本 和明
	渡長建設(株)	目崎 慎吾

賞名	会社名	氏名
功績賞	三信興業(株)	木間 政輝
職長賞	(株)大石組	志田 則夫
	椿建設(株)	星 春夫
	(株)中越興業	廣井 昭彦



土木・建築工事施工指導会

工事現場の安全管理を徹底し事故の防止とともに、技術力の向上と効率的で質の高い施工を目指しましょう。

「土木・建築工事施工指導会」を、六月二十六日（月）、さいわいプラザ六階大会議室で開催しました。



長岡市から、三本工事検査監、契約検査課の藤村総括副主幹、石橋総括副主幹、邊総括主査、荒川工事契約係長を講師に迎え、工事担当者等八十五名が出席しました。各工種



別の平成二十八年度の工事成績と建設現場における事故防止のほか、工事契約の変更点、工事の竣工検査における書類の簡素化について説明がありました。

今後とも工事現場の安全管理を徹底し事故の防止とともに、技術力の向上と質の高い施工を目指しましょう。

建築工事安全パトロール

良好な現場環境の維持と安全管理の徹底を！

技術委員会による「高等総合支

援学校屋内運動場建設工事（長岡市大字日越地内）の安全パトロール」を、七月四日（火）、長岡市教育施設課服部主査、長岡労働基準監督署加茂安全衛生課長、建設業労働災害防止協会新潟県支部長岡分会の酒井安全指導者の皆さんから参加いただき実施しました。

工事現場では、材料等の整理・整頓をはじめ、重機や機械、工具



の点検など、安全管理が徹底されていきました。

また、新潟県内で初めて「システム吊り足場」が採用され、広い作業空間や墜落、転落、飛来などを防ぐ高い安全性の確保と工期の短縮が図られています。

これからも良好な現場環境の維持と安全管理を徹底し、無事故で工事を完成させましょう。

第一回 視察研修会

建設業界の新しい動きや技術に対応するため、今年度の重点事業である「第一回視察研修会」が、七月十九日（水）、二十六名が参加し、東京ビッグサイトで開催された「高齢者住宅フェア二〇一七 in 東京」、「第九回生産システム見える化展」、「第三回猛暑対策展」、「第三回無電柱化推進展」、「第三回文化財保存・復元技術展」、「第

三回気象・環境テクノロジー展」をそれぞれ研修してきました。広い会場内は、様々な分野の展示会が同時に開催されており、特別講演会やセミナーも開かれるなど、多



大石保男理事が 黄綬褒章を受章



当協会の大石保男理事〔新潟県建設業協会副会長（長岡支部長）：株式会社大石組取締役社長〕が多年にわたり建設業の振興に尽力され公共の福祉の増進に寄与するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与された功績により黄綬褒章を受章されました。

おめでとうございます。

くの来場者で大変混雑していました。道路、橋梁、トンネルなどの点検・診断、修繕、更新や国土強靱化の推進を支援する専門的なものから、猛暑に備える作業服や機器まで、各種団体やメーカーの最新の技術に触れる有意義な研修会となりました。



インフラ整備に感謝

三信興業(株) 石澤雅弘

行ってみたい処はどこですか？と聞かれたら「青森、鳥取、島根」の名前を出します。なぜ、この三県かと言うとまだ足を踏み入れたことの無い地域だから、行ってみたいと思っています。

今、先人のたゆまぬ努力のお蔭で青森でも鳥根でも一日あれば自動車で行けるようになりました。

日本のインフラ整備は世界の中でも進んでいる方だと思えますが、ヨーロッパに比べると遅れていると云われ、高速道路だけをとってもドイツは日本の一・三倍、イギリスは日本の一・八倍も供用されているそうです。

高速道路や新幹線、そして情報通信網と言う社会資本は経済効果に直接影響して来ます。

一昨年三月、首都高速中央環状線の「大井JCT」大橋JCT」間が開通し、中央環状線は全線供用開始となりました。これにより羽田方向からの車が浜崎橋方面を通過しなくても直接東名高速方向

に向かえるようになり、車の台数にすると5%減っただけとの事ですが、内回りの渋滞が5割も減りそれだけでも経済効果が目に見える形となりました。

公共事業はこれまでGDPを一時的に上げるフロートとしての効果で語られる事が多く、税金の無駄使いと言われる「コンクリートから人へ」と流れたのも事実ですが、これからは経済効果が発揮され、災害時に役立ち、維持管理をしやすいことが大切になります。

東日本大震災を受け、救援物資などの搬送で一番活躍した道路は磐越道であり、北陸道でありました。その後四車線化の必要性が盛り上がり、上信越道においても、上越信濃間が四車線化を認められ、平成三十年には完成の予定です。

話は変わり、全国に宿場町の名残が沢山あり、そんな街並みを見て回るのも楽しみの一つです。

信州の妻籠宿や、会津の大内宿などは、華やかさを感じることは有りませんが、今でも時代劇の舞台にすぐ使えそうな、深い味わいを持った宿場街だと思います。

逆に、先日伺った金沢の東茶屋

街などは華やかさもあり、ゆっくり歩いて散策したいと思わせる街並みですが、突然の土砂降りに遭い、仕方なくスルーしました。



(東茶屋街)

また、最近脚光を浴びている飛騨高山の古い街並みも好きな風景の一つです。

東海北陸道や中部縦貫道の一部が開通し、海外からのお客も多くなり、個人的にはゆっくり出来なくなったのがとても残念です。



(高山の街並み)

中部縦貫道は山岳地帯を高速道路が走り、管理者や施工者の苦勞が伺える単価の高い道路でありますが、交流人口が増えれば費用対効果も上がり、地元も国も良かったと言う事になります。

また、山岳地帯ということもあり、大地震が起きたら一般道は寸

断され、救助にも向かえなくなる確率が高くなります。高速道路が開通する事により救援車両が通行出来る確率が上がり、社会資本としての重要性が高まります。

最後に、四国の室戸岬の近くに吉良川町という「水切り瓦」で有名な街並を雑誌で拝見しました。

「水切り瓦」とは外壁に瓦の庇を何段にも取付け、雨・風から漆喰壁や建物を守る役目をしていきます。このような昔ながらの風土を



(水切り瓦)

守る建物が連なると見ごたえもあり、自分の眼で確かめたくありません。四国と言

えば飛行機で行き、バスなどで移動するのが普通かと思えますが、高速道路が出来たお蔭で自宅から十二時間もあれば室戸岬まで行けるようになりました。

時間に余裕があり、車好きな人で有ればマイカーで行くことも出来これもインフラ整備が進んだお蔭と感謝しています。